

第1回 トンネル施工検討委員会シールドトンネル部会 議事概要

1. 開催日時・場所

令和3年5月31日(月) 14:30~17:30
JR 東海品川ビル会議室

2. 出席者

立命館大学総合科学技術研究機構上席研究員 小山 幸則(部会長) ほか8名
(※WEB参加3名含む)

3. 事務局

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部

4. 議事概要

(1) 地質概要

JR 東海や公共機関等が実施したボーリング調査の結果のほか、既存の文献により把握した首都圏及び中部圏の計画路線周辺の支持地盤や地質構成などについて事務局から説明を行った。

(2) 中央新幹線の施工計画

工事を安全に実施するための施工計画について事務局から以下の説明を行い、委員から助言を得た。

- ・泥土圧の管理の徹底

カッターチャンバー内の泥土圧を、大断面による上部と下部の圧力の差や勾配にも着目し、適正に管理することを徹底する。

- ・泥土の性状の確認

カッターチャンバー内の泥土の性状を各種のデータを用いて確認する。

- ・掘削土の取込み量の管理の強化

掘削土の取り込み過剰の兆候をいち早く把握するために、設計上の掘削土量と実績との差を管理する基準値をより厳しく設定する。

- ・添加材の適合性の確認

掘削に用いる添加材の種類や添加量等をより慎重に選定すべく、実物の土砂(非常口の掘削土等)を用いて試験を実施し、適合性を確認する。

(3) 沿線の皆様に安心して過ごしていただくための取組み

工事の安全を確認する取組み(地表面変位の計測、巡回監視)、生活環境の保全に関する取組み(振動・騒音対策、事前の家屋調査)、工事情報を適時お知らせする取組みについて事務局から説明を行い、委員から助言を得た。

(4) 今後の予定

東京外環道の陥没事故を受けた中央新幹線のシールドトンネルにおける安全・安心の取組みの説明会を本部会での説明をもとに委員の助言を踏まえた内容で行うことについて確認した。